



学校だより



平成27年 5月29日
横浜市立大曾根小学校

TEL 542-1785
FAX 541-0949

感心・感動・感謝！行事は子どもを成長させる

学校長 藤馬 享

5月23日(土)、五月晴れの空の下、第51回運動会が実施されました。昨年度の創立50周年を経て、新たな大曾根小学校のスタートという意味を込めて、「大曾根スポーツフェスティバル」から「運動会」と名称を変えました。ご参観の保護者・地域の皆様には、手狭な会場のためにご不便をおかけしたと思いますが、気持ちよく譲り合って参観していただき、ありがとうございました。

さて、開会式のときに、「最も難しいのは『止まる』という運動です。今日の運動会で『止まる』を意識してみましよう。」と話しました。すると、子どもたちは始まる前の姿勢、演技途中で「止める」ポーズ、閉会式での話を聞く姿勢など、いろいろな場面で「止まる」動きを意識していて、とても感心しました。運動が大切な理由の一つに「体をコントロールする力」、もっと言えば「静と動」をコントロールする力を身に付けていくことです。その力が身に付いてきていると感じた瞬間でした。

「心をひとつにみんな楽しく優勝めざせ大曾根運動会」のスローガンのもと、全力で取り組む子どもたちの姿は、見ている私たちにも大きな感動を与えてくれました。リズムにのって演技する姿、徒競走や団体競技でルールを守り正々堂々と競い合う姿、そして、勝ち負けが決まっても相手を認め合う様子など、たくさんの感動の瞬間を見ることができました。一人ひとりの子どもには、演技にしても競技にしても「役割」があります。そして、自分の役割を自覚し、それが一つに束ねられることによって、一つのことが成し遂げられます。子どもたちは、この運動会という大きな学校行事を経験することによって、練習などの基本を積み重ねることの意味、全力を尽くすことの大切さに気づき、協力することが何より大切であることを学んだのではないかと思います。

また、一方の「役割」を担う重要な方々が、保護者や地域の皆様です。演技や競技をしている子どもたちに対して我が子のように声援を送っていただいたことは、大きな励みとなり、子どもたちの成長を促すことにつながります。そして、そのように「わが子と同じように接すること」の積み重ねが、後になって、それぞれのお子様の一段と成長した姿となって戻ってくるのです。また、運動会が終わった後、片づけのご協力をお願いをさせていただきました。すると、多くの保護者や地域の皆様方が進んでお手伝いをしてくださり、あっという間に片づけることができました。このような姿を子どもたちが見たり知ったりすることもあわせて、子どもの成長にとって大切なことを具体的に示していただけたと思います。保護者や地域の皆様に心より感謝申し上げます。

さて、5月29日に学校説明会を行い、本年度の主な教育活動についてお伝えしました。学校教育目標「まちとともに歩み、ともに学び自立できる子どもをめざします」を具体化するために、「ともに学び」という部分に焦点をあて、学習活動の主体は自分たちだという思いをもつことができるよう、授業づくりを考えていきたいと思っています。また、「教職員の負担軽減」についても昨年度に引き続き、取り組んでまいります。本年度は、特に、「夏休み中の学校閉庁日の設定(8月3日～8月14日)」「月1回の定時退校日の設定」「留守番電話機能の活用」などに取り組み、子どもたちに向き合うため、余力をもって日々の教育活動に全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。今後とも、保護者の皆様や地域の方々の深いご理解とご支援をお願い申し上げます。